

<基本情報>

所在地：大分県宇佐市

<農場概要>

- 水稲17ha（すべて有機栽培。うち3haで有機JAS認証を取得）
- 従業員数：7名
- 世界農業遺産に認定された国東半島宇佐地域の豊かな環境を保全するために、環境に負荷をかけない自然に沿った米作りに取り組んでいる。

しあわせ米

有限会社宇佐本百姓

農薬はつかわない
肥料はつかわない
土を大切におもい
もみ種は自家採種



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 先代が有機農業を手がけていた頃、台風で周囲の慣行栽培の稲は全て倒伏したが、有機栽培の稲は被害はなかった事など有機栽培の特質を見聞きし、有機農業に関心を持った。
- 有機栽培での販売価格等について、将来を見据えて試算、経営が成り立つことを確信し、平成15年に就農。
- 平成20年（2008年）有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 販売する商品は、農薬・肥料を使用しない自然農法で栽培したお米を『しあわせ米』として販売。
- 販売先は、会員を中心に、オーガニックEXPO等のイベントでのマッチング（人脈形成等）を通じて、レストラン等へも販売。
- 販売価格は圃場の有機栽培経過年数に応じて差をつけている。
- 令和7年7月「みどり認定」取得。10月「みえるらべる」に登録。温室効果ガス削減の取組と生物多様性保全の取組で星3つを取得。



<病害虫対策・除草対策・土づくり>

- 病害虫対策
有機圃場には天敵となる昆虫や微生物がいるためか、ウンカやいもち病などは圃場には入って来ない。
- 雑草対策
代掻きの作業度合いをセンサーで検知し、モニターで確認して均平を確保。「あめんぼ号」（水田除草機）で田植え後1週間ごとに3回除草。
- 土づくり
稲藁や自然の堆肥を使用、土を清浄化することを心がけている。

<苦労しているところ>

- 圃場が粘土質のため固く、耕起の時期と方法に苦労する。
- 規模拡大で慣行栽培から転換した圃場は作土が浅く、深耕等で有機栽培に適した圃場にするのに苦労する。
- 地域のJAは有機農業への関心が薄いこともあり、乾燥調製から販売まで自社で行っている。

<今後の展望>

- 将来的には地域の50haの圃場を、若手3～4人で有機栽培に取り組むことも検討したい。



【お問合せ先】TEL.0978-33-3265

ホームページ <https://siawasemai.com>